

2008年10月

# ノウハウ会会報

第8号

# CONTENTS

巻頭言	.....	2
今年度他の団体と協働しての活動	.....	3
環境問題研究会からの報告	.....	6
環境報告書とCSR報告書		
化学物質管理システム		
CO <sub>2</sub> 削減評価		
環境家計簿の企業への展開		
環境家計簿のすすめ		
非日常の時空へ	.....	12
自己紹介		
シンガポール紀行「徒然なるままに・・・」		
中国東北地方史跡・考古の旅と鳥居龍造に関する		
100周年記念行事8日間の旅		
パラダイム・シフト		
魑魅魍魎のころ		
セミナー紹介	.....	23
編集後記	.....	25

私が未だ現役で活躍の頃ですが、後半の20数年間の勤務生活は担当業務の関係上、長・短期の勤務を含めての海外出張が殆どでした。

業務の内容が、様々なプラント設備の輸出に伴う業務が主流で、その業務範囲はプラント設備を設置するための現地調査から、プロポーザル・価格交渉・契約・設計・建設・運転引渡し、といった様々な段階での対応を経験してきました。

お陰様で、業務事情とはいえ、世界各国様々な国を訪問する機会を得、いろいろな人々と触れ合う事が出来て、誠に貴重な経験をさせて頂きました。然し海外出張ですので単なる旅行者としてではなく、現地での様々な業務の推進・展開を背負っての出張であり駐在であったため海外勤務の当初は、現地入りしたその日から全く国情の違う、そして見知らぬ土地、全く触れ合った事もない人種の人々との交渉事は、計り知れぬ緊張感と責任感に押しつぶされそうな連続の日々であった事を思い出します。

度重なる海外出張で、様々な国を訪問しての体験を積むうちに徐々にですが、どここの国であれ、地球に住む人類としてグローバルなとらえ方が出来るようになってきました。

そのうち何か自分もその中に身をおく一地球人であるとの思いで自分を客観的に見られるようになり、同じ人間という思いで様々な交渉事にも落ち着いて対応出来るようになっていったように思います。

当時を振り返ってみますと業務の全ては、「人との交渉」が殆どで、様々な国々の、様々な人種の方々との交渉事でした。

その経験を通じて感じましたことは、当たり前の事ですが「人は皆、うれしいことは嬉しいと感じ、かなしいことは悲しいと感じ、いやなことは嫌だと感じる、その感性はみんな一緒なのだ」という単純な思いでした。

交渉事には、いろいろな駆け引きが必要であるが故に意思の疎通を図り得ぬ様々な困難な場面に遭遇しますが、そんな時感性を共有する人間としての信頼性の上に立って相手に接していくことによって相手が何を思い、何を考えているかの「本音の部分が見えてくる」という事を実感しました。

様々な事の解決は、全てが時間との闘いであり、時には即断即決を求められる場合もありますがそれ故に、同じ人間としての感性を持つ相手を信じて、如何に短時間で「本音のはなし」を聞きだすかが、事の成否を決する重要なファクターになると実感しています。

以上

## 今年度他の団体と協働しての活動

### ノウハウ会プロジェクトチーム

今年度に入ってから活動の特色は、他団体との連携による活動が顕著であったと言うことでしょうか。その一つが昨年未発行した会報第7号でも紹介しましたが、「大阪府産業支援型NPO協議会」に加盟し、産業支援型NPO8団体と連携、更に大阪府の支援を得て活動してきました「OBと企業とのマッチング支援事業」と「企業への教育支援事業」など、全国的にも珍しい官・民複数団体との連携による事業活動が本格化してきました。その活動状況が日刊新聞記事に報告されており、その内容を文末に転記します。

今年度新大阪府知事の誕生により、大阪府の官・民との連携内容も大幅な見直しがあり、協議会活動の方向付けも継続を含めて時間がかかりましたが、結論として早期自立に向けてのスピードアップをしていくとの条件下で、8月から新体制の下でスタートしました。

当ノウハウ会は、大阪府ならびに構成全団体の要請により、新体制の事務局長と事務局運営を引き受け、協議会事務所を大阪商工会議所隣の「マイドームおおさか7階」に移転し、協議会の自立に向けて再スタートへの舵取り役を務める事となりました。

当ノウハウ会としては、大幅な活動への負担増となりますが、時代のニーズに沿った重要なテーマへの挑戦であるとの理解から、関連諸機関ならびに諸団体の協力を得て、自立への舵取りに取り組んでいます。

協議会新事務所には、ノウハウ会会員の事務局員が詰めていますのでお近くにお出掛けの際には是非お立ち寄り下さい。

次にNPO法人イー・ビーイング殿が19年度大阪府公募提案型委託事業として取組まれた事業で、当会に対し此の事業へ民からの一団体として参加要請がありました。

此の事業は、産（産業界）・民（NPO法人）・官（大阪市）連携による「おおさかやりまひよ協」の事業推進という事でした。

此の事業の流れを下記します。

『第1回いっしょにやりまひよ 大阪おこし協議会』19年12月18日開催

- ・民・産・官の協働についての意見交換
- ・今後のスケジュールやフォーラム・ワークショップの検討
- ・『フォーラム』の開催（100名規模） 20年2月1日開催



- ・基調講演とパネルディスカッション
- ・タイトル「いっしょにやりまひよ 大阪おこし市民も 会社も お役所も」
- ・民・産・官のベストコラボレーションを探る
- ・『第2回協議会』 20年2月15日開催
- ・フォーラムの総括と、ワークショップの打合せ



- ・『ワークショップの開催』（20名規模） 20年2月20日開催
- ・協働のあり方に対する提言とグループ討論
- ・総合テーマ：「地域社会に貢献する真の協働とは？」win・winの関係を目指して
- ・2グループに分かれて、総合テーマあるいは、具体的な事例についてグループ討論



『第3回協議会』 20年3月7日開催

・まとめ

上記計画に沿って都度、民側の1団体として参画してきましたが、最後の「まとめ」の段階で、以下の大阪市市民局からの評価を頂きました。

(談)

- ・私は仕事柄、市民活動の集まりに良く参加し、役所以外の方と広くお付き合いさせてもらっている。
- ・この事業は、NPOが中心となる協働のシステムづくりがテーマで、イー・ピーイングが中心となって進められ、よかったと思っている。
- ・PDCAで言うと、今まで役所は大きなPLANは作れるが、必ずしも成功しなかった。
- ・先ほどの例は、市民が市民の立場で感じたことを活かすために、うまくいったと思う。
- ・つまり、PLANを立てる前からの協働が必要。
- ・フォーラムのアンケートでも指摘されたように、役所は決めつけたことをやっていくことが多い。
- ・社会を変えるには、ある意味役所の壁を打ち破ることが必要。
- ・例えば、薬物依存から立ち直った人がNPOを作り、活動の結果、自分が以前入れられていた刑務所で、薬物依存に関する講師を務めている。
- ・それがニーズに合っているということを役所がわかり、市民の活動が、役所(や刑務所)を動かした例。
- ・もう一つの例は北九州市のホームレスセンターで、役所が運営している間は誰も入りたがらない状態だったが、NPOと協働で生活相談などを始めたら、入らせてほしいという人がたくさんいる施設になった。
- ・この事業は、先ほど申し上げたPLANの前の段階で、三つの異文化が交流して何かをつくってゆく場だった。

- ・交流がはかれたし、計画の前の段階で、計画に入ってゆこうとしている。
- ・次は、継続することによって実行委員会レベルになってゆく。
- ・持続可能な社会という面からみると専門分野を「環境」にするのが似合うと思う。
- ・環境をテーマに実行委員会を作ってもらえれば、(市民局が仲介して)ここに環境局を引っ張り出すこともできる。
- ・また、このような話し合いは、第1回協議会がそうであったように、役所に対する不満などをぶつける場になりがちだが、何度も回を重ねることによって、市民も役所ばかりに頼らず、自分たちも動こうという姿勢になる。
- ・その時、本当にニーズに合った活動が出来るはず。
- ・そのような意味からも、今回の協議会が次回は実行委員会レベルになることを期待する。
- ・環境を目的とした民・産・官協働の実行委員会を作り、情報発信し、最初は小さなことから、大きなものにつなげていくと良い。
- ・また、「水都大阪」に関しては市も府も力を入れていて、大阪市コミュニティ協会では、2008年は40近いNPOが水の都、粉もん、大阪の食文化などをテーマに毎月ラウンドテーブルをしている。
- ・そこに参加してもいいし、別の活動をしてもいい。
- ・そのような活動は、PDCAのDOの段階に入るとことになる。
- ・CHECKも官の身の仕事ではなく、双方向でやっていくべきと考える。
- ・お互いCHECKした点を直して次に進めば良い。
- ・この事業では、Pの前の政策形成段階の話をしていろいろな人から聴けて、それを市民に発信することができたし、このように議論することもできたし、交流が図れたのが一番の収穫です。
- ・最後に言いたいことは、民・産・官は今まで築いてきたものが違うし、特性も違うので、3回5回の話し合いでは、共通点くらいは見えても、マープルになるところまではいかない。

以上

# 中小支援、シニアが活躍

## 大阪府、人材育成チームも設置

中小企業の人材育成や品質管理の悩みをシニアが解決し、大阪府がこんなキャッチフレーズのもと、大阪市中央区に大阪府産業支援シニア活動センター（06・6262・2660）を開設して約9カ月間がすぎた。この間、相談に訪れた中小は計188社に達し、内訳は人材育成に関するものが半数強と最多。府はこれを受け、センターの運営組織内に、4～5月をめどに人材育成支援を専門に行うプロジェクトチームを立ち上げる方針だ。



人材育成や人事評価、品質管理など現場に即して指導するシニア

シニアセンターには大手企業や研究機関などを

## 大手OBら500人が登録

退職した、シニア人材約500人が登録。出身先は松下電器産業や関西電力などが名を連ねる。運営するのは大阪府産業支援型NPO協議会で、業種や業務内容、特定地域に強みを持つ特定非営利活動法人10団体を傘下にもつ。人材育成、研究開

発、販路開拓、品質管理、IT化支援など中小の個別の悩みに応じて最適なシニア人材を紹介、派遣している。

中小の個別の悩みで、最も多いのが人材育成関係。入社したばかりの新人の立ち上げから、工場現場で若手を教える中堅管理職クラスの育成な

ど、さまざまだ。いずれもネックなのが、教える人材の不足。中小で教える人材といえは社長をはじめ社内ですべての人間物がほとんどで、教えるに十分な時間中、薬務に穴があく、かとい

つ、教育内容も無償の担当者も。業種別に幅広い講師を町工場、の中小にとっで、必ずしも満足はいく内容ではなかった。大手企業OBをメンバーとするシニアセンターは、まさにその点を解決。電機メーカーや重工業メーカーで培った人材育成や人事評価、品質管理などのノウハウを中小の町工場に活用、成果を上げていく。乱雑だった工場現場がきれいに整頓

された。大手並みの人事育成マニュアルができ上がった。その数は週3日以上に達した実地指導があつて、かゆい所に手が届く。問題がないわけでもない。人材派遣会社にはない。人材派遣会社に頼むより費用が安い。シニアの出身会社のルートを

「運営して日がたち、センターのなかで問題点、今後強化すべき点などがみえてきた。府の担当者は力を込める。4月にも満足させる専門チームは中小の人材支援の対象を絞り、かゆい所に、スピーディーに支援できる、体制を自ら

り込んでいくと頼むケースもままある」（府担当者）という。シニアの立場はあくまでもボランティアなので長時間働くことはできないのだが、中小企業のためにそれを無視して、派遣社員のように使いたがるどころも多い。

業種別にきめ細かく対応

## 環境問題研究会からの報告

### 環境報告書とCSR報告書

佐藤 伸吾

最近、企業の環境への取組と対策の公表とコミュニケーションのツールとして、環境報告書、CSR報告書が、良く話題になります。環境報告書は、事業者が環境への影響とその対策を自ら社会に公開するものです。国際的にはGRIと言う団体が、国内では環境省がガイドラインを作成しています。環境報告書は、企業に関連するさまざまな利害関係者（ステークホルダー）との透明性の高い関係を築き、社会の信頼を得るコミュニケーションツールとして発行されてきました。

ステークホルダーとは、株主、従業員、顧客、環境、コミュニティなど、企業及び企業の活動に影響を与えたり、影響を受ける主体です。

「循環型社会形成推進基本計画」（2003年3月）では、2010年までに、上場企業の60%、従業員500人以上の非上場企業の30%が環境報告書を作成する事を目標ととなっています。

実際には、「環境にやさしい企業調査」（2004年度）によると、上場企業及び従業員500人以上の非上場企業の31.7%が環境報告書を作成しています。

環境報告書の項目例は以下の通りです。

#### 環境報告書

##### 基本項目

（経営責任者の緒言、適用範囲、期間、分野、事業概要）

環境保全に関する方針、目標及び実績等の総括

環境マネジメントシステムに関する状況（法令順守、保全技術、社会貢献など）

環境負荷低減に取り組み状況（環境負荷の状況及びその低減対策）

更に、環境報告書から発展し、環境だけでなく、経済、社会分野を加えて、サステナビリティ（持続可能性）報告書やCSR（社会的責任）報告書へ発展しています。

最近是不正事件も多く、社会的責任（CSR）を問われる時代になっています。

社会的責任（CSR）とは、企業も社会を構成する一員として、利害関係者全体の利益を考えて、持続可能な社会を構築する取り組みに積極的に参加し、責任を果たすべきであるという考え方です。

社会的責任（CSR）は、自発的活動で、企業の持続性と共に持続可能な未来を社会と共に築いていく活動とされています。その活動は、利害関係者（ステークホルダー）に対して説明責任を果たす事でもあります。

CSR = Corporate Social Responsibility の略称です。

CSRには、社会、環境、労働、人権、品質、コンプライアンス（法令順守）、情報セキュリティ、リスクマネジメントなどが含まれています。

CSR報告書の項目例は以下の通りです。

#### CSR報告書

トップメッセージ

事業展開

コーポレートガバナンス

内部統制とコンプライアンスの強化

重点マネジメント強化

環境への取り組み

情報セキュリティ 危機管理

知的財産管理 品質管理

ステークホルダーとの関係

株主と投資家とのかかわり

顧客とのかかわり

ビジネスパートナーとのかかわり

社員とのかかわり

社会への貢献

情報発信 社会づくり 人づくり

第三者意見

会社概要

お問合せ先

江戸時代の近江商人の経営理念「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしから始まり、社会貢献活動（フィランソロピー、メセナ活動）を経過して、CSRとして認識される段階にきたものです。

時代の変転と共に、企業が利益を追求する経済面に加えて、環境面、社会面の結果を総合的に高めていく考え方のトリプルボトムラインを含めたCSR報告書が発行されるようになってきました。

持続可能な未来に向けて、より多くの企業が積極的にCSR活動に取り組んで欲しいものです。

以上

地球環境を考えると見逃せないのが化学物質による環境汚染の問題です。化学物質は元々自然界には存在せず、人間が作り出したものです。

それだけにどんな影響をもたらすのか分からないのです。したがって化学物質は厳重な管理の元におかねばなりません。エコステージ協会ではその管理をどうするのかを指導し、認証取得する制度を設けています。以下にその制度の概要を説明したエコステージ協会の資料を紹介します。



## エコステージをベースとした化学物質管理システム

### EU,及び日本の化学物質規制に対応する企業に

#### < 化学物質管理システム認証制度とは >

- ・ [化学物質管理システム認証制度]とは、化学物質をエコステージをベースとしたマネジメントシステムを構築、運用、評価することにより、化学物質の危険有害性の排除と化学物質のリスクを低減し、認証取得する制度です。
- ・ 従って、組織の特性に合わせて、導入しやすい化学物質管理システムです。評価、支援では、評価機関に所属した評価員がコンサルタントと評価を実施して責任を持ち認証取得を支援します。

#### < 化学物質管理システム支援 >

- ・ 環境に配慮し、リスクマネジメントの強化及び国内外の規制に対応する儲かる企業への環境経営を支援します。
  - \* EU 対応、(RoHS 指令、WEEE 指令、EuP 指令、ELV 指令、REACH 規制)
  - \* 日本対応 (PRTR 法、MSDS 制度、グリーン調達法、化審法)
- ・ 第三者評価委員会 (NPO, 学識経験者) が、客観的な評価・認証をします。

#### < 支援対象組織 >

- ・ ISO14001 認証取得済み対象組織
- ・ エコステージ 認証取得済み対象組織
- ・ エコステージ 認証取得と同時に化学物質管理システム認証取得対象組織
- ・ その他の EMS 取得済み対象組織

#### < 化学物質管理システム導入メリット >

- ・ グリーン調達基準対応管理システムである。
  - ・ エコステージ 仕組みをベースに置きながら化学物質管理項目を追加・認証。
  - ・ 短期間、安価で認証取得が出来る。
- \* 化学物質管理システム認証制度の導入で、環境配慮組織体の構築とグリーン調達での優先確保のためにご検討してください。



地球温暖化が著しい状況下で進行しており、毎日のようにその影響による地球規模での様々な変動が報告されている。

更に再三襲われる異常気象現象などの事象を体験して、実感としてその影響を感じ取る昨今となってきた。

特にその温暖化の原因が、化石燃料その他、猛烈に消費が拡大している膨大なエネルギー消費によって大量に排出されるCO<sub>2</sub>ガスがその元凶にある事も認識されてきている。

然し、その対策は発展段階の各国の思惑の相違から、此の地球温暖化問題を共有してその対策に各国共同で対応できる状況にないことは、誠に残念と言わざるを得ない。

とはいえ、日本としては先進国の責任として、地球温暖化問題を真摯に受け止めこれまで国際的に約束してきたCO<sub>2</sub>削減目標達成に向け、範を示して対応していかねばならない。

対策としては、官・学・産・民一致協力して此の難問に対策し、対応していかねばならないが、CO<sub>2</sub>削減問題は、省エネ対策のみならず省資源ならびにムリ・ムラ・ムダの削減をも含めあらゆる環境対策に関係していると言うことを理解する必要がある。

特に産業界にあっては、環境問題への取り組みとして従来からその対策とされている「紙・ゴミ・電気」のみに拘らず、経営の全ての面へ環境マネジメントシステムを導入し、徹底した省エネ・省資源対策に加えて、改善をテーマにムダの削減を実施させることにより、環境経営に向けての経営体質改善が図られ、結果として大幅なCO<sub>2</sub>削減に繋がる効果が発揮される事を認識する必要がある。

かかる環境問題への取組結果を評価する手段として「CO<sub>2</sub>換算」による方法がある。家庭での環境家計簿に関しては、環境省より消費エネルギー、廃棄物内容に応じての細かなCO<sub>2</sub>換算係数が発表されているが、その数値には幾つかの約束事がある。

例えば水道については、利用により間接的に排出

される浄水場でのCO<sub>2</sub>数値、資源物については、リサイクルの過程で排出されるCO<sub>2</sub>数値、その他ゴミについては焼却処理によって発生するCO<sub>2</sub>数値などが、換算CO<sub>2</sub>の基準値となっている。

即ち、CO<sub>2</sub>評価についてはその内容に応じて様々な基準値の設定が必要となるが、例えば製造会社での「作業工程の効率化」という取組に関しても、時間短縮による省エネ、工数削減によるコスト削減、材料のムダ削除による省資源、消耗諸資材の削減による省資源、

などなど、様々な分野での削減効果が期待される。

特にCO<sub>2</sub>削減としての大きな要素となる省エネ、省資源については、その係数の把握を徹底させ、その効果を数値的に把握し評価し、それを一般に公開報告する。この事が会社の社会的信頼度を高揚させ、大きな社会的評価を勝取る手立てともなる。

以上

### はじめに

今年(2008年)7月の北海道洞爺湖サミット(主要8ヶ国首脳会議)の焦点の一つに地球温暖化防止に関して温室効果ガス(主にCO<sub>2</sub>)削減の全地球的な中長期目標を設定することがありました。

長期目標については8ヶ国首脳者間で「2050年までに少なくとも50%の削減を達成する目標というビジョンを国連気候変動枠組み条約の全締約国と共有し、同条約に基づく交渉でその目標を検討、採択を求める」というあいまいな表現で宣言採択されました。しかしこれは数値目標の設定ではなく、「次なるステップへの基礎固め資料にすぎず、中国、インド、ブラジルなどの新興国の同意が得られていないままの宣言でした。

2020年を目途とする中期目標については、EUは1990年比20%以上の削減目標を掲げているが、アメリカ、日本は数値目標すら出せないまま終了しました。

(京都議定書1990年比6%削減が日本の対応)日本は温室効果ガス(主にCO<sub>2</sub>)を削減実行期間である2013年までにその後の増加分を含めて12.4%以上の削減が義務付けられている。日本政府は国別の削減目標を決める際に鉄鋼や電力などの産業・分野別に排出削減可能量を算出し、積み上げる方式を採っている。鉄鋼、電力、化学、セメントなどのエネルギー多消費産業や運輸、オフィス、家庭といった民生部門などに分類して、分野毎に個別指標を設け、生産量や省エネ技術導入のベースなどを加味した排出上限の数値目標を設定している。企業毎に検証結果を報告させ、成績結果を公表する形で運営され、各企業にとっては削減圧力の厳しい内容となっています。

一方今まで規制の甘かった自治体によっては全国都道府県と17の政令指定都市、35中核都市、44の特例市の6割以上が削減目標を掲げて取り組むと回答しています。尚、努力すると回答した自治体で達成が難しい理由に規制が困難な家庭やオフィスなどの民生・業務部門での伸びを挙げる自治体が多かった。今後はコンビニ店の24時間営

業の規制やライフスタイルの見直し、環境家計簿の普及などの施策が強化されるものと思われます。**環境家計簿の企業への展開**

NPO法人ノウハウ会では家庭での電気・ガス・水道・ガソリン・灯油の使用量、またゴミなどの廃棄物量を入力すると二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量が分かる「環境家計簿」を「楽しい環境家計簿」と銘打ち、独自のソフトを携えて普及に努めてきました。日本政府にあっては「一人一日1kg」を削減目標に掲げて国民運動を盛り上げる方針であったが、今一つ成果が出ていないのが実情です。

そこで当会としては環境マネジメントシステム(エコステージ制度)を導入していただいた企業にたいして「会社の知恵を家庭に、家庭の工夫を会社へ」のスローガンのもと、従業員のご家族を含めた活動に発展させる活動で「CO<sub>2</sub>ダイエット作戦」と銘打ち、環境家計簿の企業への展開を図っています。

今年から導入してもらっているK社ではまず管理職(約80名)の方々に研修を受けてもらい、6ヶ月の実績検証を経て、次年度からは全従業員に実施してもらうべき段階にきている。K社では社長はじめ全従業員および家族を含めた取組みこそ肝要との視点で次年度からエコポイント制を導入し、積極的展開を計画中である。

### まとめ

京都議定書の数値目標は日本国に課せられた最低の国家義務である。国も、企業も、家庭も、官も、民も垣根を越えた取組みこそが目標達成のカギを握っていると言えよう。

昨年の環境白書では家庭でのCO<sub>2</sub>削減について省エネ家電、燃料電池などを活用すれば、4割削減が可能としています。

国民一人ひとりが「楽しい環境家計簿」をつけて、ライフスタイルを見直していけば、12.4%の削減は可能と思われる。まさに国、社会、国民の「志」と「実績」が問われている事象なのです。

以上

## はじめに

地球温暖化をもたらす温室効果ガスの抑制をどう進めるのかは今日の全世界的なテーマであります。特に主な温室効果ガスである二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の抑制については日本でも現在真剣に取り組まれています。企業においてはISO14001やエコステージ等の導入による成果がかなりあがっているようです。しかしながら日本全体のCO<sub>2</sub>排出量の約20%を占める家庭部門では排出量はかなり高い水準で伸びており、全く歯止めがかかっていないのが現状であります。それは家庭部門への有効な抑制手段が見当たらず、また抑制への強制力を働かすのも困難であるからです。その中で対策としてはハード的には省エネ機器への転換、ソフト的には環境家計簿の普及が考えられますが、特に環境家計簿の普及は遅々として進んでいないのが現状であります。それは「環境家計簿とはどんなものか」、「環境家計簿はCO<sub>2</sub>排出の抑制にどう関係するのか」、「環境家計簿を使えばどんなメリットがあるのか」についての有効なPRがなされていないことと、環境家計簿をつけた際の具体的なインセンティブが何もないというのが一因だと考えられます。そこでまず環境家計簿とはどんなものかを改めて説明することにします。

## 環境家計簿とはどんなものか

まず次の表を見ていただくことにします。これは環境家計簿から1月の欄を抜き出したものです。

エネルギーの要素	CO <sub>2</sub> 排出基準	1月		
		使用量	排出量	金額
電気 (kWh)	0.36	383	138	8577
都市ガス (m <sup>3</sup> )	2.1	41	86	6634
Lpガス (m <sup>3</sup> )	6.3		0	
水道 (m <sup>3</sup> )	0.58	7	4	1699
灯油 (L)	2.5		0	
ガソリン (L)	2.3		0	
アルミ缶 (本)	0.17	30	5	
スチール缶 (本)	0.04		0	
ペットボトル (本)	0.07		0	
ガラス瓶 (本)	0.11		0	
紙パック (本)	0.16		0	
食品トレイ (枚)	0.008		0	
ゴミ (kg)	0.84	15	13	
合計			246	16910

タテに電気、都市ガス・・・とあるのは家庭の生

活に欠かせないエネルギー要素と缶、瓶、ゴミといった廃棄物の要素が並んでいます。これはまたCO<sub>2</sub>の発生源でもあります。次にヨコの項目を見てみるとCO<sub>2</sub>排出基準、使用量、排出量、金額欄となっています。電気のCO<sub>2</sub>排出基準0.36とあるのは、電気を1kWh消費すると0.36kgのCO<sub>2</sub>が排出されるということを示しています。使用量は請求書から分かる当月の使用量を記入する欄です。したがってCO<sub>2</sub>排出基準と使用量を掛ければ、当月の電気によるCO<sub>2</sub>発生量が計算されることになります。例えば今月の電気使用量が300kWhであれば0.36×300=108となり、電気使用によるCO<sub>2</sub>発生量は108kgとなります。以下同様に行なえば、エネルギー要素と廃棄物要素毎のCO<sub>2</sub>発生量が算出されます。なお廃棄物の計量はゴミを出すときに体重計などで量ればよい。慣れてくると手に持ったときの感覚でおおよそ分かるようになります。

水道の請求は2ヶ月に1回なので1/2にすればよい。こうして各要素毎のCO<sub>2</sub>発生量が分かれば、これを集計して1ヶ月のCO<sub>2</sub>発生量の発生量を求めることができます。これが環境家計簿の基本です。これを1月から12月まで毎月行い、年間の集計をすれば、1年間のCO<sub>2</sub>発生量を知ることができます。同様に金額欄にも毎月の支払額を記入し、年間集計をすれば、1年間のエネルギー経費を知ることができます。

しかし、毎月これだけの計算をし、年間合計までしようと思えば、かなり面倒なことになります。ノウハウ会で開発した環境家計簿ではパソコンに毎月の要素毎の発生量と金額を入力すれば後の計算は全て自動的に計算され、前年との差異、目標との差異も計算できるようにしてあります。

## 環境家計簿はツール(道具)である

環境家計簿とはどんなものか、どのように作成するのか、その概要を知ることができましたが、環境家計簿をつけることは目的ではありません。環境家計簿は手段であり、ツール(道具)です。環境家計簿によってどれくらいのCO<sub>2</sub>を発生させているかを知り、次月はどんな方法でCO<sub>2</sub>の発生量を減らそうか、いろいろ工夫をし、それを実行していくことに狙いがあります。何もしないで、これまで通りの暮らし方ではCO<sub>2</sub>が減るわ

けはありません。家族で相談し、協力して一人ひとりの生活様式（ライフスタイル）を変えていくことに意味があります。その基本は「もったいない」のところにあります。「テレビは見る番組を決めよう」「お風呂は続けて入ろう」「だれもいない部屋の明かりは消そう」などなど「もったいない」のところで暮らし方を見直し、地道なことを継続して実行し、エネルギー消費量を減らし、CO<sub>2</sub>発生量を減らすことにその目的があります。企業でいえば、ISOやエコステージの認証を得ることが目的ではなく、導入することでムリ・ムダ・ムラを無くし、できるだけエネルギー消費の少ない効率的な経営を目指そうというのと同じことなのです。

そのためにノウハウ会の環境家計簿は前年実績、当年目標、当年実績、前年差異、目標差異が全て分かるようにしてあります。また目標達成のための「実施計画」にあたる「省エネ工夫の実行表」といったものも用意されています。

#### **おわりに**

環境家計簿の概要の説明は以上ですが、はじめに述べましたように環境家計簿の普及は遅々として進んでいません。ノウハウ会ではISOやエコステージ導入のお手伝いをさせていただいた企業様においてはその従業員のご家族を対象にした環境家計簿の普及活動を今年から進めようとしています。「会社の知恵を家庭に、家庭の工夫を会社へ」であります。

ノウハウ会の環境家計簿システムはいつでも提供できます。また説明会が必要でしたら、企画しますのでよろしくお願ひします。

以上

### 自己紹介

朝田 清彦

平成20年7月に入会させていただきました「朝田清彦」です。

当然のことですがノウハウ会については、右も左も、北も南も分かっていませんので、よろしくお願いいいたします。

少し私自身の経歴について述べさせていただきます。昭和20年2月生まれの63.5歳に達したところです。第二次世界大戦が終結する半年前に生まれていますので、ギリギリ戦中派になります。

生まれた場所は現在も居を構えています「羽曳野市」です。当時は「大阪府南河内郡駒ヶ谷村」と言っていて、周りがある6つか7つの村や町が合併して昭和34年に「羽曳野市」になりました。市に昇格？したときは中学生だったのですが、全校生全員が朝の8時ぐらいだったと思いますが、提灯をひとつずつ全員が持って、市内を練り歩いたことが記憶に残っています。

ご承知のように羽曳野市は大阪府内でも有数の古墳が群がっているところでありまして、応神天皇陵を始めとして日本武尊白鳥陵、雄略天皇陵、清寧天皇陵、安閑天皇陵、峯ヶ塚古墳などを有する古市古墳群と呼ばれる国の史跡を有しております。また市内には「源氏三代の墓」があり、八幡太郎義家で有名な武家の棟梁の「河内源氏」の本拠地となっており、鎌倉幕府創設の礎にもなった地であります。

また司馬遼太郎さんが書かれた「街道をゆく」を読まれた方はご存じだと思いますが、わが国最古の官道（街道）と言われる「竹之内街道」もこの羽曳野市を東西に走っております。その昔は聖徳太子が難波と奈良の都を行き来する時、私の家の前を往来されていたのではという空想さえできる地であります。

余談ですが、司馬遼太郎さんが取材のためだと思うのですが、何度か我が家の前で見かけたことがあります。

私自身の出生についてのエピソードですが、母親の話に寄りますと、大阪府南河内郡みたいに灯りの少ないところでも、戦争末期だったためか、米軍による攻撃が相当激しく、何度となく空襲警報が鳴り響き、その度に、防空壕へ逃げ込んだようです。そういうような状態だったものですから、当然のように防空壕の中で産気づき、私が生まれたようです。灯りのない真っ暗な防空壕の中で、産婆さんも防空壕の中にいなくて、かなり出産に難儀をしたようですが、それでも何とか一度だけ赤子を取り上げたことがあるという近所のお婆さんと呼んで来て、何とか無事に出産を終えたみたいでした。

また私が生まれた後も、母体の栄養不足で母乳が満足に出なかったので、お粥の重湯を足して満腹感を得させて育ててくれたようです。その割には身長=176cm 体重=76kgの恵まれた身体に良くも育ったものだ、今にして親に感謝しております。

幸い2年ほど前までは大きな病気もせず大過なく過ごしてきたのですが、残念ながら、ちょうど2年前の8月に僧帽弁閉鎖不全」という心臓病に罹り、10時間ばかりの心臓手術をいたしました。そんなこともあって今年第一線の仕事から外れるということになった次第です。

これまで仕事一筋に頑張ってきたためか、これと言った趣味も持ち合わせていません。学生時代からやっていたラグビーが尾を引いて、プレーすることは儘ならないのですが、花園へはシーズンインすれば足繁く通っています。

また会社を辞める数年前から、手術後のリハビリを兼ねて、女房と一緒にわずかばかりの面積の家庭菜園を手掛け、夏野菜、冬野菜の収穫を楽しみにしています。

次に職歴ですが、ノウハウ会に入会させていただく前は、久保孝ペイント（株）に3年間勤務しておりました。またその前は、関西ペイント（株）に38年間勤務させていただきました。ご承知のように塗料というのは橋梁、船、大型タンク、自動車、二輪車、大型トラック、建築物、電気機器

製品、携帯電話、パソコン、家庭用品、玩具、事務機器用品、農業機械、建設機械などなど、数え上げればキリがないほどあらゆる分野で、また眼に付くモノすべてのモノに使用されているのですが、私自身は関西ペイント(株)～久保孝ペイント(株)の両社を通じて、電気機器製品や農業機械、建設機械、携帯電話、家庭用品、事務用品などに使用される「工業用塗料」分野に所属し、製品開発・技術渉外に携わってきました。

ノウハウ会に入会させていただきましても、すぐにあれもこれもできるという訳ではありませんが、取りあえずは「塗料と塗装」に関する話が来れば、一番に手を挙げて頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願いたします。

以上

## シンガポール紀行「徒然なるままに・・・」

兵藤 幸治

### 1. マーライオンは3人家族だった

「世界三大がっかり」と称されているシンガポールの「マーライオン」ですが、実は3人家族だったのです。シンガポール川沿に歩き、ホテル・フラトンを過ぎると、マーライオン公園があります。そこにはマーライオンが2頭います。さしずめ「マーライオンのお母ちゃんとお子ちゃま」というところですよ。お母ちゃんは、川に向かって勢いよく水を吐いていて、よく、ガイドブックに出てくる本命のマーライオンです。その背中に、ひと回り小さなマーライオンが、背中を向けて可愛く水を吐いています。お母ちゃんと背中合わせになっていて「仲の悪い母子家庭なのかなあ～・・・」と、余計な勘繰りをしてしまいます。人影が写真に写っていますので、それで2頭の大きさを推測してください。

「えっ？3人家族なら、お父ちゃんは何処にいるのかって？」お父ちゃんは島へ出稼ぎに行っています。「お母ちゃんとお子ちゃま」がいるマーライオン公園は、入場無料の公園ですが、お父ちゃんは、お向かいにある「セントーサ島」の小高い丘に陣取って、入場料を取って稼いでいます。三

人家族のマーライオンが「世界三大がっかり」だなんて失礼ですよねぇ～・・・なんとも微笑ましいではありませんか・・・。



### 2. 東洋の神秘「シンガポールスリング」

シンガポールを訪れた観光客のほとんどが立ち寄りと言われている「ラッフルズ・ホテルのロングバー」ですが、東洋の神秘と言われているカクテル「シンガポールスリング」で有名なお店です。マレースタイルのロングスカートでママさんが迎えてくれますし、なぜか、男の従業員も皆さんマレースタイルなのです。そっか！ここはマレー半島の先っちょでした。

テーブル備え付けのビーナッツ(「FREE」のようです)が、微妙な塩加減で、とても美味しく頂けますし、ほとんどジュースのように甘くまるやかなので、つい、一気飲みしそうです。グラス片手に30分ほどいたのですが、来るわ来るわ、店を覗くだけの冷やかしか観光客が・・・中には図々しく店の中をひと回りして、パンフレットだけを貰って帰ってゆく観光客もいます。

ちなみに、シンガポール政府観光局の観光パンフレットにレシピが掲載されていて、

- ・ジン 30ml (ゴードン・ジン使用)
- ・チェリーブランデー 15ml (ピーター・ヒーリング使用)
- ・パイナップルジュース 120ml
- ・ライムジュース 15ml
- ・コアントロー 7.5ml
- ・ベネディクティン 7.5ml
- ・グレナディンシロップ 10ml
- ・アンゴスチュラビターズ

以上をシェイクしてタンブラーに注ぎ、スライス

したパイナップルとチェリーを飾るのだそうです。

このカクテルをどうしてもお土産に持って帰りたくて、空港の免税店で探しました。ありました、東洋の神秘「シンガポールスリング」のボトルが・・・。

### 3. まちなかにある日本

シンガポールの街中をさ迷っていたら、日本のお店を発見です。サンテック・シティ・モールのタワー3で見つけた、どこかで見たような商標ロゴです。ブルーの文字で「ROYCE'」・・・北海道のチョコレート屋さんではないですか。お店に入ってみたら、ありました見慣れた生チョコです。思わず買ってしまいそうですが、シンガポール土産で「ROYCE'」はないですよっ！

実は、シンガポールには、日本のお店屋さんが沢山あるのです。「YOSHINOYA」とローマ字で書いてあるので、ちょっと分かりにくいですが、紛れもない「吉野屋の牛丼」ですし、ハンバーガーも日本の「モスバーガー」がありますし、有名なデパートも「高島屋」や「伊勢丹」なのです。



お店だけではありません。超高層オフィスビル街には、東京都庁に良く似たビルがあります。都庁の設計者でもある日本の建築家「丹下健三」の設計ですし、去年、都知事選挙に出た後に亡くなられた建築家「黒川記章」の作品も、そのビル街に連なっています。



以上

## 中国東北地方史跡・考古の旅と鳥居龍造に関する100周年記念行事8日間の旅

岡本 正明

はじめに

杉本憲司先生（仏教大学文学部教授）と行く中国東北地方史跡、考古の旅と日本の人類学、考古学の草分け的存在である「鳥居龍蔵博士」遼上京巴林左旗（内モンゴル自治区林東）が現地調査して100周年に当たり、現地博物館による記念行事に共催と言う形で参画してきました。

（訪問したところ）

遼寧省の瀋陽、阜新、義県、凌源、錦州、内モンゴル自治区赤峰、林東などで2008年5月10日（土）～5月17日（土）の8日間の旅でした。期間中に中国四川大地震（5月12日）が発生していたのですが遠隔地で、しかも専用バスでの移動中だったので、ツアー同行者（17名）の誰一人気付かない有様で気楽な旅でした。

堅苦しい学問的検証はさておき旅程にそって印象記を記します。

<5月10日（土）> 関西空港 大連 瀋陽 阜新

今日は出発移動日で関西空港10:00出発（ANA機）で大連着（ビザ・入国手続）瀋陽到着（現地13:00 1時間の時差）合計4時間の空旅でした。

瀋陽は旧満州時代の奉天で中国東北地方の玄関口だけあって空港は大きく建物群は全て新しく模様替えされていた。瀋陽市民は750万人で8月の北京オリンピックではサッカー競技が予定されていると伺っている。

瀋陽から阜新迄の距離は約220kmで専用バスに乗り込み3.5時間を要してホテルに到着。高速道路は瀋陽市内だけでそれを過ぎると穴ぼこ道で一般車、トラック、オートバイ荷車など雑多で混雑していた。

<5月11日（日）> 阜新査海遺跡（博物館）  
義県万佛堂石窟（北魏） 奉国寺（大佛寺）（遼代の創建）

阜新市は遼寧省の西北部（内モンゴル自治区の東端）に位置し、石炭の露天掘炭鉱が有名で、年産200万トン規模は世界一である。

阜新市は人口約 210 万人で以前は農業中心で最近  
は炭鉱関連、火力発電、石炭化学などに関わる  
人が多いと伺う。

駅前広場には毛沢東の大きな銅像が建っていて、  
あたりを見廻すと工場、マンションの建設ラッシ  
ュで古い街並から近代的な街並（農業県から工業  
県）へと変貌過程にあるようだ。

・ < 査海遺跡（新石器時代） 査海遺跡博物館 >

今から 7000～8000 年位前の新石器時代中  
期の興隆注文化に属する環濠集落遺跡である。遺  
跡は小高い丘陵地帯に在り、約 1 万㎡の広さで多  
くの住居跡や玉類（首飾り、耳飾り）、石器類とし  
て「ヤジリ」、「ツボ類」そして穀物をすりつぶす  
石皿、大型の収穫ツボ類などが多く出土している。  
注目遺跡物に飛翔しようとする龍姿の配石遺跡が  
出ている。赤褐色の龍の尻尾やとぐろを巻いた頭  
部？などがリアルに表現されている。



・ < 義県：万佛堂石窟（北魏時代） >



大きさは長さ 19.3m、幅 3m でまさに天の神  
に向かって飛び翔とうとする青龍の姿である（神  
の存在が伺える）。また壕をめぐる環濠集落跡  
が出てきており農耕文化がかなり進んだ地域で初  
期の文明期に入った遺跡と思われる。  
博物館は最近出来たばかりで出土遺物の整理も不  
十分で資料集もまだ出版されていないが見るべき  
ものが多いところである。



義県の西北 9km、大遼河 北岸上にあつて  
石窟は東・西 2 区に分かれて居る。西区 9 窟は北  
魏大和 23（499）に開窟されていて中国北方石  
窟造像芸術の宝庫である。

北魏時代に造られた石造佛は比較的小ぶりの等身  
大で顔は細表で柔和な表情の石仏像で、釈迦仏像  
や阿弥陀仏像が中心である。日本の聖徳太子が持  
来した三経義疏（さんぎょうぎしょ）は北魏からの  
もので日本仏教の原流にきた思いがする。またこ  
こには「北魏九景造像碑」なるものがあつて文書  
体が「楷書」から「篆書」に変わる時期のもので  
貴重な文物とされている。



・ < 義県：奉国寺（大佛寺）（遼代創建） >

義県城内にあつて遼の開泰 9 年（1020）に創  
建され、もとは咸照寺と称し、俗称大佛寺という。  
義県の街中に在る由緒正しい寺で表九間、奥行五  
間、高さ 21m で堂内には遼代の大佛像 7 尊ほか  
多くの仏の姿が見られる。釈迦像はじめ 7 阿弥陀  
仏座像は立派で中国の 10 大遺産物の一つである。  
遼代以降の元、明、清代の壁画などが随所があり、  
見所が多い。  
現在はチベット仏教の影響が色濃く残っている印  
象を受ける。

< 5 月 12 日（月） > 錦洲 朝陽へ

錦洲は渤海湾に面した良港で知られ戦前には陸海  
軍人をはじめ多くの日本人が居住したところであ  
る。



錦洲駅から一直線に伸びた道路は道幅広く整備されていて日本名とおぼしき看板が多く見られ日本情緒を感じる街である。

< 朝陽：朝陽北塔（唐代の創建で 13 層磚塔）>  
朝陽はもともと五胡 16 国時代（316～439）の燕国の本拠地があったところで前、中、後燕と続いている。

現在の北塔は遼代の四面壁十三層磚塔である。（以前は南、東塔もあったが今は東塔は欠けて無い）茶褐色基壇上の四壁面に釈迦座像、飛天像などの彫刻が施されており、その上に飴色をした十三層磚塔が築かれ高さは 41.8m である。

4 隅の軒下には風鐸が架けられ全体に秀麗で風雅の趣がする塔である。

今回の北塔改修時に出てきたものが博物館（2006 年開館）に展示されている。

仏塔は南面で地空、中空、天空（14.8m の高さ）に分けられており、地空の仏舎利からお釈迦様の遺骨の一部が最上階の天空には七宝の豪華玉類が納められていた。天屋根には大きな目の入った鴟尾に守られている。

この朝陽北塔は全国重点文物保存施設に指定されている。

< 牛河梁遺跡（紅山文化を代表する遺跡）>



今から約 5000～6000 年前に遼寧省西部から内モンゴル自治区東南部にかけて見られる紅山文化を代表する遺跡の一つである。

牛河梁遺跡は紅山文化の中心で 1930 年の側構工事中に偶然発見され本格的調査は戦後に実施されており今回は雨降りの為発掘現場近くの資料館を見学する。円柱埴輪、土器類（石斧、石鏃、石刃）そして玉類などが大量出土している。



注目すべき土器に女神人面像がある。容貌はモンゴロイド系で目玉に青玉がはめ込まれていて中央アジア系民族との文化交流が読みとれる。

この遺跡は今から約 5500 年前のもので石槨墓、石積塚、祭祀跡などが確認されており、初期の文明社会構造が形成されていたものと思われる。

< 5 月 13 日（火）> 凌源市 内モンゴル自治区 赤峰市

< 赤峰：赤峰市博物館 >

今から約 5500～6000 年前の紅山文化資料を中心に展示してある。

陳列は時代毎に区分されていて充実した内容となっている。

< 赤峰：赤峰紅山遺跡 >



赤峰市駅より車で 15 分のところにあり山が紅く染まっているところから鳥居龍蔵が紅山文化と命名したとされている。鳥居龍蔵は 1906、7、8 年と三度調査に入っている。

1932 年には日本の考古学者で浜田耕作、水野清一の両氏が調査に入っている。

遺跡は山麓一帯に拡がっていて環壕集落跡も確認されており今だに土器片が散在していて収集が自由となっている。

・ < 三座店夏家店下層文化石城 >

この遺跡は今から約 4000 年位前の青銅器時代のもので燕山南北の長城地帯に築かれた石城遺跡

である。この遺跡付近は陰川大規模ダム工事を行っていて立入禁止区域となっているところ赤峰博物館の好意で外国人として初めての特別許可が下りる。

山上の丘陵地帯に在る為遺跡到着まで一苦勞である。山上付近には広範囲にわたって住居跡、石の城壁、穀物貯蔵庫、門、穀物つき穴や玄関口に至る道筋跡も確認出来ている。幾筋もの山稜尾根を利用した遺跡で 15 万㎡の広さを有し岩石に線刻画、人面画が確認されているが青銅器類は今のところ発見されていないという。

中国では重点文化遺跡として再度発掘調査保存が決まっている。

< 5 月 14 日 (水) > 赤峰 林東 (上京博物館)



< 林東：遼上京巴林左旗博物館 >

日本の人類学、考古学の草分け的存在であった鳥居龍蔵が東蒙古の遼上京巴林左旗に考古学調査に入って今年が 100 年目に当たるので上京博物館と鳥居龍蔵を考える会の共催での歓迎式典参加の要請を受け訪問する。

事の発端は 2 年前に鳥居貞義氏 (鳥居龍蔵を考える会代表)、木村氏と小生の 3 人が当博物館を訪れた際に王未想館長と鳥居貞義氏との間で 2008 年は鳥居龍蔵が遼上京調査訪問 100 周年に当たるので記念行事をやるうとの約束から始まっている。

2 年前の 2006 年は鳥居龍蔵ときみ子夫妻が若き情熱を燃やして東蒙古の旧カラチン親王府学堂教師に招聘されてより 100 年目に当たる年であった。

前回訪問時に鳥居龍蔵夫妻がグヌンサンノブル親王夫妻はじめ教師、学生達に大歓迎を受けた様子が王府内の授業風景などの記念写真に残されていた。

2006 年が来府 100 年に当たるのを機会に鳥居龍蔵夫妻にまつわる考古学的資料、文献、写真類などの展示室を設けてほしい要望を出す。清代蒙古王府博物館の石館長、呉副館長より 100 周年記念行事をやるうとの快諾を得て翌年 (2006.6) に鳥居龍蔵夫妻と家族の写真を題材にした日本画 (鳥居龍蔵の遠縁に当たる昼埜夫人 < 旧姓鳥居 > 製作の肖像画) を寄贈して大変感謝された経験がある。

今回遼上京博物館では鳥居龍蔵ときみ子夫人の 2 枚の肖像画額を日本から持参すると共にツアー同行者全員 17 名が百周年記念行事に正式視察団として招待された次第である。

10 時 10 分頃に到着した私達一行を王未想館長を筆頭に地区党幹部の人達、テレビ取材班等総勢約 40 名の方々の熱烈大歓迎を受ける。

記念式典は広い応接室で執り行われ、会場正面には鳥居龍蔵博士の肖像写真と『記念考古学家鳥居龍蔵博士、在遼上京遺跡文物調査 100 周年 (1908 ~ 2008 年)』の大きな看板の下総勢約 55 名参加で催された。

旗長をトップとする行政の幹部 (3 名) から公式の歓迎挨拶があり、続いて王未想館長より鳥居龍蔵の学問的業績と遼上京との関わりについて中国語の説明があった。

その後記念品贈呈式があり遼上京博物館から巴林左旗文史資料 (九) 「遼上京研究論文集」が記念品として全員に贈呈された。

次いで当方から日本より持参した鳥居龍蔵の肖像画が鳥居貞義氏 (鳥居龍蔵を考える会代表) から、そしてときみ子夫人の肖像画を作者の昼埜文子夫人 (旧姓 鳥居文子) から党幹部に贈呈された。最後に鳥居貞義氏から鳥居龍蔵夫妻の生前の思い出をまじえながら今回の盛大な歓迎式典にたずさわった関係者に謝辞の言葉があり終了となる。

約 1 時間 30 分におよんだ式典の様子はテレビ取材班によって収録され放映されたものと思われる。博物館見学後に式典関係者一同の為に昼食会が催されモンゴル料理を腹一杯馳走になり感謝、感激した次第である。

・ < 祖陵への見学 >



遼上京博物館から 40km 離れた祖陵へと向かう。一般道より祖陵へと向う川沿いの道（約 15km）はアスファルト舗装になっていて以前訪問時より大変な様変わりである。

この祖陵は遼の初代皇帝（開祖） 耶律阿保機（872～926）が葬られている廟地である。唐末の 907 年契丹八部を統一して汗位に就いた初代皇帝である。

しばしば長城を越えて華北に侵入し、また西方の諸部族を征服し 906 年には渤海国を滅ぼして中国東北部からモンゴル高原一帯を本拠に契丹帝国を築いた人物である。

その後契丹帝国は騎馬民族が中心で約 200 年間続いた王朝である。

この祖陵は高山の奥まった所に在り全山一帯が聖域になっていて巨岩に囲まれた墓域は人を寄せ付けない異様な雰囲気のある場所である。（以前の印象）今回は祖陵に至る前庭（祖陵邑）に行く。

ここは祖陵管理を目的とした役所邑が置かれたところで外壁、内壁に囲まれた拡大な敷地を有している。長い階段を昇った先に石造物の遺構に到る、この石組遺構は死者を葬る前の殯（もがり）として使った様で形が奈良石舞台古墳に似ており大きさは同古墳の約 3 倍位で圧倒される。

・ < 遼上京臨潢府遺跡 >

遼上京臨潢府遺跡はここ林東で開祖耶律阿保機が汗位に就き 907 年に即位したところである。

版築塼に囲われ東西南北には四城門があって遺跡地は広大である。

鳥居龍蔵がこの地に調査に入ったのが 1908 年である。いんな発見をして「考古学より見たる遼の文化」として学術論文にまとめ発表したのがこの地のことである。

100 年経った今も遼上京臨潢府跡の発掘調査は

手付かずで城壁、宮殿建物群跡はそのままに累々と横たわっていて発掘調査は何時かと静かに待っている状況に変化はない。

< 5 月 15 日（木） > 赤峰 寧城へ

寧城：遼陪都中京遺跡 凌源：牛河梁遺跡女神廟遺跡へと向かう。

中京城遺跡に向かうこの一帯は農村地帯で民家が多く農耕用の口バ荷車をよく見掛けた。

畑作物はトウモロコシが中心でここでもハウス栽培が盛んでトマト、キウリ、茄子、ホウレン草などが植えられている。

・ < 寧城：中京城遺跡見学 >

契丹族支配の遼時代中期の創建で八角十三層高さ 81.4m（遼代 2 番目）の磚塔である。

基礎部の周囲は 140m ありその上の八面壁には守護仏のレリーフが刻まれている。

正面（南面）には阿弥陀仏像が刻まれ基壇部は華麗で美しい。

この基壇部の上に飴色した八角十三層の大塔で大明塔と称し各階正面に銅鏡と各角軒先には風鐸が架かり風格のある仏石塔である。この仏石塔の創建されたのは契丹帝国の 5～6 代時代（1000～1007）で遼国が一番栄えた頃の建築である。

契丹族は元来騎馬民族国家であったがこの頃には宋との和睦で農耕技術文化は宋から採り入れ 2 面性を兼ね備えた帝国であった。

和睦条件としては宋国が兄で契丹が弟の兄弟同盟関係であったが実質は契丹族が支配していた。宋国からの朝貢品は黄金（主に銀）や玉類、絹などが中心で国家財政状況は非常に豊かであったようである。文化行政面では仏教思想を重んじて各地に仏像、仏石塔などの文化遺産を多く残している。博物館には騎馬民族の馬具、戦闘兵器、民用農具、鼎（かなえ）類、装飾玉類などや宋からの朝貢儀礼の様子（ろう人形）、衣装類などが所狭しと展示されている。

・ < 牛河梁遺跡の女神廟遺跡現場へ >

紅山文化の中心牛河梁遺跡に向う。一応発掘調査は終わっているが立入禁止域になっている為金網越しに点々と広がる遺跡群をバス内より見学する。

< 5 月 16 日（金） > 朝陽 錦洲 瀋陽

朝陽から錦洲に至るこの辺は純然たる農村地帯で幾つもの峠を越える道はデコボコのある地道で砂

ばかりで大変である。

・ < 朝陽：朝陽博物館 >

朝陽は遼代 5 王府の一つが置かれたところここでここに残る磚塔は六角十三層石塔で 51.4m の高さがあり立派である。六面壁には仏像レリーフがあるが少し荒れている。

博物館展示室には恐竜時代から現在に迄を物語風に描かれている。

時代区分展示として

( 1 ) 石器時代 ( 1 万 ~ 1 万 2 0 0 0 年 前 ) 磨石器類

( 2 ) 新石器時代 ( 5, 0 0 0 ~ 8, 0 0 0 年 前 ) 石器道具類、ツボ類矢じり、打石器類 . . .

( 3 ) 青銅器時代 ( 3, 5 0 0 ~ 4, 5 0 0 年 前 ) 鼎類、ツボなどの青銅器類

( 4 ) 鉄器時代 ( 3, 5 0 0 ~ 2 2 0 0 年 前 ) 秦の始皇帝時代迄

( 5 ) 前漢 後漢 北魏 隋 唐 遼 元 宋 明 清

・ < 錦洲：広濟寺古建築群 >

広濟寺は遼代、明代、清代の建築群が一堂に集められたところで道教の道観や日本の神社建築もあり、特長に乏しい感じがする。

< 5 月 1 7 日 ( 土 ) > 新樂遺跡 遼寧省博物館  
瀋陽空港 関西空港

瀋陽の街は旧日本帝国時代には奉天と称し旧関東軍指令部、旧満州鉄道、旧満州医科大学などがあって約 35 万人 ( 全市民の 3 分の 1 に相当 ) の日本人が居住していた所である。

市内の中心部広場近くに瀋陽大和ホテルが残されている。日露戦争 満州鉄道への進出 満州事変 満洲国の設立 日支事変などめまぐるしい社会情勢の表舞台になったところである。政治家、軍人、事業家。一般市民が往環し利用したところで旧来のまま保存され今もホテルとして営業活動を行っている。

ここには著名人の往時の写真や宿泊名簿などが残っていて ( 事の善悪は別として ) 勃興発展期の日本の姿が見え懐かしさを感じる。

大和 ( やまと ) ホテル ( 現遼寧賓館 )



著名人の年代別宿泊リスト



・ < 新樂遺跡 ( 今から 7 0 0 0 年 前 の 新 石 器 時 代 の 原 始 集 落 遺 跡 ) >

この遺跡は街の中心部に位置し、今から 1 2 年 前 に 発 掘 調 査 さ れ た 新 し い 遺 跡 群 で あ る 。

新樂遺跡は下層文化層には「矢じり」、「石斧」、「石鏃」、「石皿」などや玉串珠、骨片などが多く出土している。

上層文化層では陶器類 ( ツボ、カメ . . . ) 鼎類、石鏢などが出ている。

ここでは原始集落で住居跡、家屋跡 ( 竪穴・堀立柱 ) : 火の使用跡などが見つかっている。

実物大の竪穴、住居模型が約 5 棟設けてあり、火を使用しての食事風景や集団生活の様子などが再現され実体験可能な仕組みになっている。

・ < 遼寧省博物館 >

最近完成 ( 2 0 0 4 . 1 1 ) し た 鉄 筋 4 階 建 で エ ス カ レ ー タ ー を 備 え た 近 代 的 な 博 物 館 で あ る 。

所蔵品目は 20 万点を越え歴史的遺物、工芸品、  
 絵画、書道などが系統的に展示されていて中国歴史、  
 文物、文化を織る上で非常に参考になる。

(まとめ)

今回の旅は中国東北部の新石器時代から現在迄の  
 中国をまるごと知る温故知新の旅でした。日本歴史  
 と対比しての印象を記します。

査海遺跡、新楽遺跡(今から 7000~8000  
 年前)は日本では縄文前期に相当し主に狩猟  
 採取時代である。(ストーンサークルの時代)  
 紅山文化遺跡(今から 4500~5000 年前)  
 は縄文中期に相当し縄文火炎土器が製作され、  
 青森県三内丸山遺跡(定住共同社会のはじまり)  
 )の時代である。

北魏石窟の大和 23 年(499)は仏教公伝  
 (538or552)の 40~50 年前の継体天皇  
 の時代である。

契丹帝国の遼時代(907~1117)は平安中  
 期~後期に相当し万葉集、古今和歌集、源氏  
 物語などの日本純文学が花開いた時代であり  
 仏教末法時代のはじまり。

鳥居龍蔵の時代(100~110 年前)

鳥居龍蔵は小学校中退でありながら一念発起  
 して今の東京大学の理学部の助教授になった  
 立志伝中の人である。

当初比較人類学が専門で日本人から始めてア  
 ジアの少数民族(台湾原住民、朝鮮民族、中  
 国の少数民族...)骨格身体調査・風俗・  
 民族性など、考古学を視野に現地調査を行っ  
 たフィールドワーク型の碩学である。

今から 100 年前の日本は日露戦争に勝利し  
 本格的に中国を侵略しようとした時期である。  
 飛行機、自動車は今ほど普及していない時代  
 に家族協働のもと徒歩、馬車での調査行を率  
 先して行った行動派で現地住民には温かく接  
 したお陰で 100 年経った今も現地の人に顕  
 彰してもらえる光景に接し日本人の誇りと感  
 謝で頭の下がる思いがした次第である。

瀋陽大和旅館

日本帝国主義時代の悪しき過去の象徴として  
 大和旅館が残されていたことが印象的でした。  
 今の中国は日本をしのぐ経済発展を遂げ北京  
 オリンピックを開催するまでになっている。

中国が悪しき日本の侵略歴史の轍を踏まない  
 よう発展してもらいたいものである。

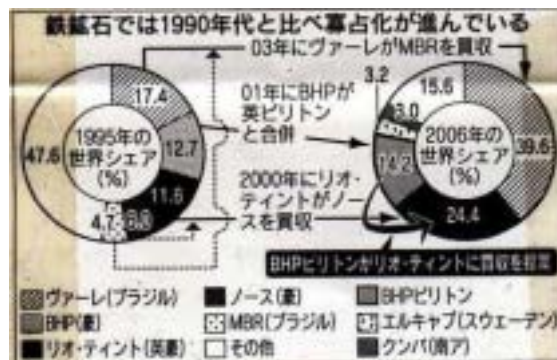
以上

## パラダイム・シフト

辻田 俊寛

今年度 4~6 月期の GDP 統計で日本から海外  
 への所得流出が止まらない。所得流出の規模を示  
 す 4~6 月期の「交易損出」は年率換算で約 2.8  
 兆円で、前期 1~3 月期の 2.6 兆円を上回り、現  
 在の貿易統計を採用した 1994 年以降、過去最  
 大の損出規模を記録した。輸出価格が材料となる  
 資源の輸入価格を上回れば交易利得となり、逆の  
 場合は日本から貿易相手国へ所得が流出する。日  
 本の産業構造が加工貿易である為、資源高や円高  
 で交易損出が拡大しやすい傾向にある。

戦後営々として築かれてきた原料を安く輸入し  
 て、付加価値のある製品を輸出することで日本国  
 内に富が蓄積されてきた日本の経済規範が揺らい  
 でいるのである。今、海外では資源メジャーの合  
 併により寡占化が進んでいる。世界的な需要増に  
 乗って好業績を続けてきた日本の鉄鋼大手が新た  
 な試練に直面している。巨大化する資源メジャー  
 との闘い、真のグローバル企業への転身、そして  
 環境問題への対応だ。またこれは同時に日本の製  
 造業全体が抱える課題でもある。英豪系資源大手  
 BHP ビリトンによる同業大手リオ・ティント買  
 収が実現すれば、日本が輸入する鉄鉱石の 60%  
 を頼る豪州産は新会社が事実上独占無すること  
 になる。



(日経新聞より)

今年になり、資源大手の値上げ攻勢で日本の鉄鋼大手は最終的に3兆5千億ものコスト増を押し付けられた。各社鋼材価格への転嫁で急場をしのいだ。だが、主要顧客の自動車メーカーなどは業績悪化をしており、今後も転嫁できるとは限らない。資源高が単独の企業努力では対処できない水準に達する中、「共闘」の流れが生まれている。「日の丸鉱山」である。第一弾はブラジルの資源会社ナミザの買収、またアフリカ西海岸の鉱山買収も視野に入れている。

しかし世界の変化は「日の丸鉱山」構想がかすんで見えるほどに遠い。アルセロール・ミタルは60億ドルを投じて鉄鉱石の自給率を80%位に高める。韓国ポスコも豪石炭会社に10%出資している……。巨大化を続ける資源メジャーと渡り合う手法を日本の鉄鋼業界はまだ見い出せていない。

「経産省分析」によると交易条件が悪化している第一の理由は需給ミスマッチ（日本企業が必ずしも世界の需要に合った製品を輸出していない）、第二の理由は資源輸入依存（日本の輸入全体に占める石油・石炭の資源輸入の割合が28%（06年度）、米国の19%、ドイツの12%などより高い）、第三の理由は外国為替相場（昨年は一時的に124円台をつけるなどの安基調だった）と指摘している。

交易条件を他の主要国と比べると日本の悪化が目立つ。00年を100とした場合の日本の交易条件は74.9と、米国（95.9）、ドイツ（98.5）より低い。この差はサービス業の生産性向上が不可欠であることを示している。円高の利点を得られる経済構築が望まれるのである。温暖化対策という観点だけでなく、資源高への耐久力をつけるためにも日本経済の化石燃料からの脱却を迫られている。

先進国の10億人が石油など多くの資源を消費していた時代から新興国の30億人が先進国同様の生活を享受することになれば、原油、食料などの資源は投機ではなく、投資へと移らざるをえない。原油相場は長い目で見れば、新興国経済の成長による需要増で高止まりするとの見方が大方であろう。原油高、食料高といかに共生するかが問われている。

米・ハドソン研の研究員の某氏が新聞に書いていたが、原油先物市場を通じ、中国がバレル200ドルで2025年まで大量の原油を調達したという。吉と出るか、凶と出るか、これが事実であれば、中国も豪気な国である。

（文中の数値は日経新聞より引用）

以上

## 魑魅魍魎のころ

中村 隆次

近年電化が進み、夜が明るくなったせいか、いや世の中世知辛くなったせいか分かりませんがお化けや幽霊とか「魑魅魍魎」の話はとんと聞きません。わたしが子どもの頃はまだ「魑魅魍魎」が活躍する場所が残っていました。「夜になったら、あの通りは一人で通ってはいけないよ。むじなが出てきて、だましよるよ」とか「12月の雪の降る夜は朝倉義景さんの武者行列が通るから、絶対見てはいけないよ。もし見たら連れて行かれるよ。それ、あそこの子この頃見ないやろ」とかオドロオドロした話しをよく聞かされたものです。ですから、夜になると怖くて、一人でトイレに行けません。「オカアチャン、おしっこ」母親について来てもらわないとどうしてもダメなのです。田舎のトイレって縁先に出て、突き当たりにあるようなことになっています。そこに10ワットの薄暗い電球が1個ついているだけです。「戸を閉めたらいや」母親に見ててもらわないといけません。トイレに行くにはどうしても庭先にある石灯籠や杏の木を見てしまいます。するとその物陰に何かがいそうな気がするのです。

今からする話しはまだ得体の知れないものが現れても不思議ではない、そんな雰囲気があった子どもの頃、F県の田舎に疎開していたときに祖母から聞かされた話しです。

F県のある町に豆腐屋がありました。豆腐屋の朝は早い。夜中の0時頃から豆を蒸し始めます。明け方になる頃豆腐が出来上がります。店番はおかみさんにまかせて、主人ハリヤカーに桶を積んで其の中に出来上がったばかりの豆腐を入れて、町の中に売りに出かけます。今日もいつもと同じ

ように豆腐屋は仕事を始めました。それは雪がしんしんと降る夜のことでした。夜中の二時頃にひょっと気がつく、表に一人の若い女が立っています。今頃何だろうと思って、

「今時分、何か用かい」

「豆乳を少し分けてもらえないでしょうか」

小さな細い声で女が言います。

その時分豆乳と言ったかどうかは知りません。

「いいよ。何か容れ物は持っているかい」

「いいえ、持っていません」

「おうい、そこに徳利があったな。そいつに豆乳を入れて渡しておやり」

「お代はいくらですか」

「それくらいの豆乳はいいよ。それより気をつけてお帰り」

「そうもいきません。足りないでしょうけど、これで」と言って女は一文銭を置いて、まだ暖かい豆乳の入った徳利を抱いて、雪の中を帰って行きました。

「今時分何だろうね。おまえ、今の女知ってるか」

「いや、知らないね。どこの人だろうね」

その日はそれで終わりました。

次の日も昼の雪空から夜になると雪が降り出しました。昨日と同じ時刻にまた女が現れたのです。昨日と同じように、豆乳を買い求めて帰って行きました。

「どうも気になる。後の仕事頼む。ちょっと様子を見てくる」

主人は女の後をついていったのです。女は5分ほど歩いたところにあるお寺の中に入って行きました。

「おかしいな。お寺の向こうには何も無いんだがな。どこへ行くんだろう」

その日の朝、夜が白みかけたのを待って、豆腐屋はお寺に行き、和尚に一部始終を話したのです。それを聞いた和尚の顔つきが変りました。

「分かった。心当たりがあるぞ。おととい、行き倒れになっているのがおってな。身元の分からん身重の女じゃった。それでうちで埋葬したんじゃ」

「間に合えばいいがな。墓堀人足を呼んでる間が無い。悪いが手伝ってくれ」

二人は一昨日埋葬したばかりの墓を掘り起こしたのです。墓の中には女の遺骸がありました。まぎ

れもなく豆腐屋が会った女だったのです。遺骸のそばには生まれたばかりの赤子が眠っていました。赤子は生きていたのです。そしてそばに豆乳が半分ほど残っている徳利がありました。遺骸の首には四つの一文銭が掛かっていました。赤子はお寺の大黒さんが住まいで介抱したので、みるみる元気よくなりました。

「もう何も言わんでも分かるな。よほどこどもを助けたかったんじゃな。不憫よな」

和尚は棺を元通りにし、ねんごろに回向をしました。

「ところで、あんたと子供がおらんかったな。

この子を育ててやってはくれんか」

「おい、和尚がああ言ってるけど、ええか」

あとからやってきたおかみさんに聞きました。

「これも浅からぬ縁です。うちで育てましょう」

その日も暮れて、夜中の二時頃に女が現れました。女は入り口のところでだまって立っていました。

「あんたか、うちでちゃんと育てるから、安心して仏に成りなさい」

女はあたまを深々と下げて、お寺の方に帰って行きました。それから二度と女は現れなかったそうです。

以上

## セミナーの紹介

11月に開催されるセミナーを紹介します。  
エコステージ協会主催の「環境経営支援セミナー」と兵庫経営塾主催の「経営者が語る」です。「環境経営支援セミナー」ではノウハウ会がエコステー

ジ支援活動を行なった2社の事例発表とノウハウ会がどのような支援活動を行なったのかの説明があります。また兵庫経営塾とノウハウ会とは協働関係にあり、今回の「経営者が語る」は経営者が何を感じているのかを知るよい機会ではないかと思っておりますので紹介します。興味のある方は直接申し込むか、ノウハウ会までご連絡ください。

# 環境経営支援セミナー



## ～ムリ・ムダ・ムラをなくして経営改善～ 環境経営評価支援システム『エコステージ』のご紹介

地球温暖化をはじめとする地球環境問題への対応が大きな課題となっています。企業も、地球温暖化問題をはじめとして、自主的に環境問題に取り組むことが大きな経営課題になってきています。環境問題に取り組む手法としては ISO14001 代表的なものです。取得のためには、費用や時間、労力などの負担が大きく、中小企業にとっては必ずしも取り組みやすいものではありません。そこでISO14001を補完する環境経営支援システム『エコステージ』を活用して、環境経営に取り組んでみませんか。

『エコステージ』は、企業の業種・業態・規模に関係なく、認証を取得することが可能で、利用しやすい制度となっています。折角の取り組みが、紙・ごみ・電気の削減だけになってしまうのはもったいないことです。『エコステージ』は本業での環境負荷の低減を支援します。ムリ・ムダ・ムラをなくし、経費節減や生産性の向上を支援します。『エコステージ』の導入で、儲かる経営を目指しましょう。今回、下記の通り、エコステージの説明会と認証取得のための相談会を開催させていただきますので、是非、お申し込みください。

開催日時	プログラム
平成20年11月4日(水) 14:00～16:00	1. エコステージの紹介 有限責任中間法人エコステージ協会 関西事務局 新名康幸 2. エコステージ認証取得企業の取り組み事例の紹介 京都カーゴ軽自動車運送協同組合 株式会社 日中製作所 3. エコステージ評価機関から支援内容等の説明 エコステージ評価機関 NPO法人 ノウハウ会 4. 個別相談会 認証取得に関して個別にご相談させていただきます。

主催 有限責任中間法人エコステージ協会 関西事務局 NPO法人イー・ピー・イング

会場 おおさか ATC グリーンエコプラザ内多目的スペース (ATCビルITM棟 11F)

〒559 - 大阪市住之江区南港北2-1-10

定員 30名(先着順)

参加費 無料

お申し込み 有限責任中間法人エコステージ協会 関西事務局 NPO法人イー・ピー・イング

事務局 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2丁目1-10 ATCビル ITM棟11F

TEL06-6614-2207 FAX06-6614-2219



# 特別経営講演会

## 「経営者が語る」シリーズ 第7回

行動は足下から  
—益はないけど意味はある—

- 日 時 平成20年11月5日(水) 午後2時～4時 (受付: 午後1時30分)
- 会 場 兵庫県民会館 11階 パルテホール  
神戸市中央区下山手通4-16-3 ☎078-321-2131
- 講 師 木南 一志氏(株式会社 新宮運送 代表取締役社長)
- 受講料 一般 一人 2,000円 兵庫経営塾会員 一人 1,500円
- 主 催 NPO法人 兵庫経営塾(兵庫県経営者協会会員・姫路経営者協会会員)
- 協 賛 (株)ウエシマコーヒーフーズ (株)エーデルワイス (株)土井商店  
(予定) 兵庫トヨタ自動車(株)三ツ星ベルト(株)六甲バター(株)和田興産(株)
- 後 援 神戸新聞社

### 講師紹介

- 昭和34年1月 兵庫県揖保郡新宮町にて生まれる
- 昭和56年3月 流通経済大学卒業  
大手運送会社に勤務後、家業を継ぐべく新宮運送へ入社
- 平成12年4月 株式会社 新宮運送 代表取締役就任
- 平成14年7月 胃がんで三分の二切除手術を受け、現在に至る

### 内 容

1. 経営に寄せる志、信念
2. 「病い」との闘いを克服して
3. 師との出会い
4. 「運送」という仕事に対する熱き思い

「一度限りの人生を大事に生きよう」をモットーに、一日一日の積み重ねを大切にしたい…  
そんな願いを込めて永遠に挑戦を続けています。

#### (事業沿革概要)

- 昭和37年11月 新宮運送店設立
- 昭和58年12月 株式会社新宮運送に組織変更
- 平成9年12月 車両衛星通信システム導入
- 平成11年8月 世直しリサイクルシステム開始  
21世紀の日本を創造する…「世直し倶楽部 ころの文庫」発刊
- 平成16年4月 グリーン経営認証取得
- 平成17年1月 安全性優良事業所認定

### □お申し込み・お問合せ先

NPO法人 兵庫経営塾

☎650-0022 神戸市中央区元町通6-1-1 (栄ビル)

TEL 078-361-0565 FAX 078-382-8121

<http://www.npo-hyogo.jp> mail:honbu@npo-hyogo.jp

## 編集後記

第8号会報をお届けします。今年になって、他のNPOとの協働による活動が新たに始まりました。その活動の様子を紹介します。またエコステージの普及活動も継続されており、その基礎をより強固なものにするために行なっています「環境問題研究会」からの報告も掲載しました。ご一読ください。「非日常の時空へ」も含め、原稿をお寄せいただきました皆様に深く感謝します。

平成20年10月  
会報編集担当 中村 隆次  
牧之内良昭

(本会報の記事を無断で転載することをお断りします)

発行：特定非営利法人「ノウハウ会」  
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3-19  
マルマスビル3階 302号  
メールアドレス：[khk@dance.ocn.ne.jp](mailto:khk@dance.ocn.ne.jp)  
ホームページ：<http://www.khk.gr.jp>

